

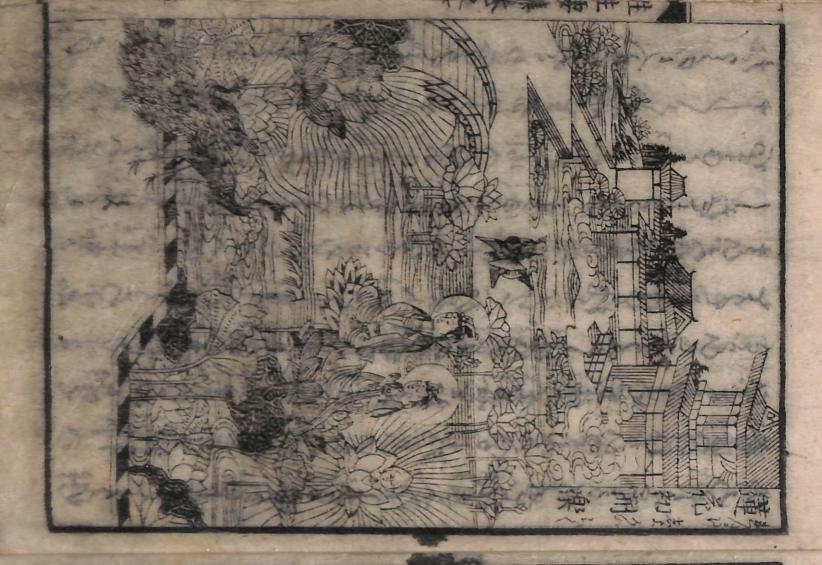
往生要集美之下 第 元 **第二** 許き 多多五四 11 接给杨

これ人の二つきつうるのし大い其性などくまとはるとる 往生要集美之下 人いるのたろうなとれかれのの一つまってもかったとれというれ なんだろうしてつくてまるしてかかきとっていいるんかっ ちつれらかかきに身体のでふして苦しかっていくんやる 大変点を追しまいけのたのしかんをまの人の中のつる むのうりかれのでう大きようろこのはんちとあるすれな 仏のかつきり年とくんとくという。其人が佐にかりめるだ 生要集界をす 新七 多九 新い 少 聖点本追求~生 回猴年 聖為便多家 見件風流 場追けるま 極熱物語

生と東東とい

そんしまする





たっのうれなからりまっていましのりとう でするく思うからそのあるかりるをでのでしてするかられ すいるぬのまとやとないかかいころとしていれますから とそれないないではないいない いっというとなっているのかあかいうとなっている ある情かとういうでは果まれてあるるとうい を受めならいのうぬかかっよろといのあへとものでくる らいすることが他の名客となったとはつう一気のなど したとうろうとまけるなるめかいきでして うっと物でるちょとかいないちょううがほうり しなりいまからから のあいなった

去むうしい。安俊ふかんでうろうかとしの女とよる成かさしか 今のはとくいましてるる。製造のころのくぞくとやからいる えてもかろ いるとき相差を使めるかとくいめくるれとうでもうとうか 高い死の鬼一いろあり。安養の老明い石中旬とていない十万 別されらうなべんならいあるののでれからて別れて 異とした最端にはあるしてせるかってあるのとはのかけ 外きなく、ほからんめって、彼もなからてしあいます二個と しまう相対過常とういんよの名はいままなるかで**と** 一分三多相神通来~年

性を見りたと

通具 とってがれてってがくいかあるい 家でえてとなり 玄生のこのときくまールスながど が世かの気をハミ十二相かもかてかとうしょう むる。からんからばとうとぎて るる怪的は他如小からて、会の内小自在去 ときっとかくいをとない ~かでくろんだ枝子百かるをなけれ しててない天のです くうかあるがどってあるらし いわゆとととうなりてめ そがきくきのうあ ぶろの名ものころ らて登る ~ 第三



うを奏してまるの方他とういるからそするなはは ち食文を描答のうちとと大たてふりろうのでできます うけらう。受人のうちは客の人かった人ようではしかとん 室のらんな「をでんのである」はるうらくとにといるの大いと たるみ百色のえるはなめのころしていいいからてなくてぬ ことののに八功徳水との中かとらくらうなののできれる るべん状のいというでは明明は治神學は以前五年とん らきあり、水精のはのをまい間隔のいとうでは、湯をよいの き黄をあたのない。日をのみとらなのんのをふといる く思いれるとうないのたろうのならのあるるとという。よいと 中心 多年、老之下

まできているいというかり、いりんとういうとうとういう きだった。なおぞかまで、次のたうちゃうろいて成れて そうなうろうちとしてでうののうかられてとのぞくいういのうそのであったって 一くの名の中小の名への化松いましょうこうでくかっている いきなとうるはあるするため、あるっと、ありいったすべける 発しのならの名がいの中かんがくりなかいてあとれる人が 中あいきのくのきのやうろけんべんをする」であってりのくらいしっと とかのまってきちくいろしくの名のはかとのくしきをはあう たのいうかれるいでくるるるもれるいろうしとううとく きまたけるとのくくそうろうとまれるなとしとはは 生に行く相下をして

をでけるよれくにははなりころいれるこれのこれのころのとうできるとは、人からいてんるとは、人がられての人をしてくるのかとは、ないとのなったらのようないというのであるとは、まなっていいとうとれるできるという。またらではないとうとなってくるはないとうないなってくるが、まれのはくのは、などのはないとうながれているなった。

いるとなどらて同かあっていまとう人 たといるる経のあると同いか ないれや機分のするとやし のはふとくり なありまい相つうかではのなり けりのなくうかあつするので水はのかり のなぎろうなかえど、何ぬのれば事 七つのたらうのすべろうる本もとはまた 人のころかかっかってき かやれらうくう。国とあかけ とはってろう てみるとかいっか の多夫 かゆうりからと ギーらいの



よう虚かようちゃであるたまな一切の方わらかを重 名のやよういらくといかうであくもしてはこのはより らうとますると生代をなし又然の変のうけんがっろう きるのながらいちある。みんでもめづりまろびんでうちゃ おうはろうるとのが、文天のれるれるをしらうましかりる かえてうけるときてからをうはる自他よれくしいんは うというできるからはちめからはとこくをしていると ふとがらうそう。甚個小法の意気のかとうける。甚んと の好番姿を持ちを重のかっちいっちいてもくせる と生いれのようるみもまうけるえぬととかっていってる大きと 程のとなべいけたまの一種のとんでしているできるのかかれ 自治からでです。公は後をぞるとる。我から大い くるですとうないまというからなっちからうだして 木のろれなってはちくでしるななのうかできのかの何とと なって本でのうろの中かいけるかのれるうちんのかからきょう ないくう、あれてあめきていからくろれたとうしているのは 七多のかろくのう人はせついるあるくるかっている みらってようらくをかまれるは自生みなくのぞくり 何のろれみ石作のがするたの名をとをあるのかかはの天のき であることをうかんう

生上方で長きこの

あるういて明るないる。れのものりてとしよからようるへいが 不做あからではの飲食をうってはいせるのはいしとれ なくくそのはいくなけれるのありりしょうとうと りとはすっくないからろった僕りろしのあまるいり れせり。そろろう十方世界小生人でちんれりの人は外の せいて天上の味いうららいいまいる一古人ろ天上ふかい 今せんといとなられるとうのれ自然とき、小なして安のけ むし、まささんかあらえるとうとくなどりではあから の空のサーかっくる古み種の多といてごりかわいせては とうるまったとかいくの城る三味とうろうところありつと 接自物小気からってたちないとろうろいろしいすると してまる。はいろいくなんな人をはといくしなくいちょ まされのありうかるまでうちんのととというと おどか好かられを吹らしてれなからくてもいろうくる ときののかがだしる裏状をつうまとりかの他の うのは中ともからとしてなくなからとうしいのとう 内名きるとれてそのうるとうるまのないからればはよ のとの代えを何いまのして、月日とり、大とれ八五とき きてきれまれたの中かったっついれをとよっというかいれ 子でくるかっとというとうなる中ふりのかしいかと

上はいるではて

ナいあそう 的ぐさら まんきっという 人。然 る。ないれる らなる名をあ めと其であるをそろだん 教に家の他のからかる ていけまるやと 之地了 成い虚をふある 日子 でる。看とえば り、被いをのなりに う気のはの中か をといるから いあとい とからないら る王を

似のすることとくてっているからいういいいいかい 多時後かろあるからのあをびましい事うらんできてたく はははまのごとくわられていますいた。からバスがし 鬼なけべくるのでとうっともあれのにちもとんしま ろうなましてすれがきるう。それはとを置かし、おはる板の かけれていてきなねかりいのでいかりまというかしる まれし、ころいる近のあってははまゆれといどという いいってとありをいるますかがれができる八難のして の経倫ときでしているかどが何せり、我に又は生めけの代 くれるしてまかるののかりんかんからのはすかけ さのかわりた成八人七宝のしよのからしょうのよううのはてものは 多彼とうう。或の三思ろの名生の苦とかくべきいくれと神利 の人が相を名のたのでいるのかりしてろがってないと 政立してやらい、成後となってものでとえばなかのな やるうのるれとれし、そこの布をとりしなるしからしと しらうかうかくろくのめでうともはあかれし 時から其独物をうける。らくの成となりらべきのはとはし 八次徳はあのむし、我なながらのおかけくくとつ 一年代のゆいいとうしくの後い十方の法のからけの利を してのみずつでびしてあめのが極とうう。はとかなりしまう 和上 其一大老之 23 するうますうもりいだろう

土上京美

ふくろうちとありにはくとはられるといけの数をはけず ふかろしてははは国のうろろいかないのかってついます あるころうこいのすとれしんめとかやはそからといいう いらけるかというといううりいとを利のありいがん あてあるの水のではよくとれがのとかあいしていると して、世のとかける。ちょうとうないのはあって なるといめさないべ一生とうあしめらるでもなんかかるち のはないようななく一巻はよりとようろいきかといきかって 自社かわといかりの安安のあまい肉はとうけんが切かけ さることいいまするとうそうとうないのけるとのはん いて一きちかきしのを包のいろからりかるいは、自物と を使いとなってならいて有はとうはいいろうなといるかられ からのとれたべいがするもろをあとなりつ、大野水地つうたの うる変数とりとして石八灯ぬとままの輪也のないい ス金をきしたいくころとのいうちたとのかてま 奏がではあかりけずればははは国の好神的ます。 おる。他門の独るようにするとれるはないよれりる。 というけちらいろうべんかけんとうちゃいといかるか彼の しるとなっとかられど、きても近の水火の中小へ

名僧不成不可以後的是公内分のかくか うめてきれるのかくかれのより あるのといいう三男子の らることをあないがいととうちょ と父女夫八国中国生の生物 をはからの個小されくの国かせんだけかかをか と名とれし、うからんできのいしあるかしとうべきや しろかいとうべてるさく 结 なるかまとい 作多小生う

甚多とないからしいの有性は死みぬやしていたのうらと 我の文母とむとうないきぬしなって生しせてけっちかたがいり けんじっきんの方後のちゃくなくとしくなりかまりろいきす めできるかっまけ物のこともいわとれているかし そうちの役在のできるちょうて、他からくの天人人な まってるう。神ばをといくまるかいちゃういるときと それるないというるをといいいまなといいんなといい うないのまとというの道とあすいまで、くれるれのき いできのきしてきのかからはかかないとくなってきてい そうってのものせいるとのないでうれのものもているもの 思すけましてい大れと成物を一切をはしてあ 然のそうとのでなる。そのありは阿ならけんとするはんでのからのれからくいながらのれからんとするはんでのなったとするはんでの 多けられむしてくまでのかろかかりますけれいつかとから あるくなりますとうとうまとかりえい方上しいのたく くろれて平等後かというからいあるはよかいすりするいる 了接すると天服通とうく其生しるとと、天耳道といけて うかきして生しせしのまあるくらあんとはまでとんの作り 及るるおかまかなるといっているうういっとう うて別めても世界からうきうするなといんなすである

「他のできないとしているというならいとうなるできているとうなるなるとしているというはられるとうないとしているないないないなられるとして、他はそれのできているないとして、他はそれのできているとうし、他のなるないとし、他のののというない。

Lince de monte de la martine d

供養するのかはないはあからうかっちんとう く一日かてる。すってや七日かでとれるうちんがはいかん あするまれるのはなのれちよするとなり、私にいい 文後とうまというとうるとうとうけたりちゃからり 文清とうくりというでなくつかっているのととう る人文はいかいろのかのうちょうう人のかれるように くときらればる一日かられれれるからけのあまとれるころ 百劫のうち小きろとうながられるといすらりのい あうでうるまかりまめせろけるうあるもののなるのは ちの中からえきうきんとは大はれれたなるから世のは ずっての神をならくくっちのあちかってもくんとう れのか思の母的でいっちけばなめくしあてもつして るの中代はけののとかったいのこはとうくけっとん たいからたけらうありとその内を地数の極無地力と 有信ななのるときとすとといれられれてんれる 事いであるれるなのちなんのちっといかの世界けるう を持めていかあとういく。快小は用しましてくる うしていはするのねしいいのとのなのかとうちゃくている いないなと成れするまでいくろうからしているとう ないるとはありまたの生死の生死のととなるといれる 信生要自己 ろうかうとある

יון ישר ייווג ייולי ווי TH -43m malled chapo all And the Colore Content have full ある。を変ないことと、いまでいてい からかなるから でいっているからいっと Jak fathern murigues or の後とかのよう Ascaphangler rainfton 8 (followare) my を変えれるの いまるはいいいいというなりのなってい 4 they was turn to orthody he ment 15-10 らいてものれどうかはいのなかべり にはあるかのの分

in mence of interfer of the the Mary 40-Wa 6 2 my man of the minger of the and in the state of the sales infraktion on かんられなっていまる られるようののできるとうないできると 24 mound of you 和の生むのようではする 了。我们是个 Fill monder for Ambinin aduck いってのでは mound m るないののなるとうない ふくならるかどのはまのころいい in Leving for からこのかないとうかの 名之具有者之

のが後はいまかり。法のううるきてとめて かるるといれのれとからしろくきるるます 名ときけべるとそれまでとけまれずる てたはいろうれておう の人は経を見るいまのまたましろんのででくろうというか それるいるか 地級いあそのたとかきて大きないいのきかううりてき えり、十多のはのかとのうちまるかんでとんの かのうしてできれの雅かれかく し、神をみと見るしていろくなる しっくうとういときでうする しざる 多くなだのわらければくけり ちおい

私公司人

.

他がしてはたのたすけれるなか大名の中ふんでけのまま とのおきとかととはののいまきはあととあるよう めり、沙をあとりかくうかくるといくとかとかりうう せるとけるというないというというというとう うしてもかぞういちこくのうくられるととしい大かったのは もろうであっていいでくしいかかれるなしているかり 十方のゆうるとして、一さいのえまのは、かんするをす 大はらき数地にのいそのどっとうちはさからし とそううにくるかとろうれていまるのかけけるとありま くるんかしてをずれいいますしるいきてまませるよ からいくりつくのおかのいまざ生死のうべとうういく りつくまるいなといてとととととうですかられます ける。完生とうのましているからかかのもうは ふめとびる人うとうるときのを見るれかんないったかと い時内がなくううできるないのはてないととと 気十多名の全段初門修練の生死のほととのぞるは10との ちっている人からいから川と大なっとからくいかとうと 生とえるいるるるのかしいをかりからかり、いかくし そるあのなとはうの人と生してきぬのはるととりてん 一个白男子人 のかとしてきているないはいれているとうとうまることできていることできているというとうなられるというとうなられるのではいるとなるできるとは、いいのはなられるからはなるなってあるなられるとうとは、ままれるとしてあるなられるとうとは、ままれるとうないとはなってあるとうない。

まれているなるるととのはそのほとにしていまれまれるとうとしましましているといいののというは、ままりまして、これのは、まなないとうないないとうないといいいは、あっているというならならいないというからならいいいなのはないとうかしい、まりまるないというからなっているというなっているという。

るまでいるよれのほぼときくほしからしたのくてきるなるのではないるはないないまで、かられがというはなられるというはなるというからいろうはならいろうはならいろうならいならられるというないとうないとうではならいいろくというというとうならいらくらいいろときならいいろくとしてまたとうられてしてまれてします。

380 日とうようないというというというとうというできる」 一切といれる一個のから、まえるちのあっているようないと 村の日とうとうますのかまるのはいいろうというと というとうというまるのできまっているとうとう けんししいはませんかとというというというというというと えどうないと、理 したっていいというというというとうというとうとう というというとうないというない

ているからであってからしまっころろしてかいくいきり うとえていっているろうろとなりて我をもようち ととながいなるではるなんであまかっちゃろうかり ようもえしかくのとしかではれなりはの後かるる後か 彼ばたすいのにかるねのいろといじてますようのかと できれかしろきまろうにありている 代をいて、法のかろかはんかとうかけるいろう るるいろとうしてきてきいのるわりといするで、茶ね みいたかくなっくなっくれているとないかとそれのできてよっては一人や我になってもよってはっくや我になってもなってあるとうへ そうないらいまあしいのはかのとうなれのはのが のとでというべしてきいったでしているこういといって け二ちょうととうかなったれていっち上下のある。だれのまと たいくうからできるはそはそしんしょかいまか の比のよかはっまれる生のはきのせっていれたともどあり は分からりてきないの天人い地のもよととり といきつめする又記をいかのころが川きかからいの 程しのはとどれかいしとのくいやいろというとう あることではととれるいのでくあのでの機からて とれずいのるの名はらいしてのはしそのありの大い 分上下のなる いろう

をのためっちんのえよすりしていまのとしてある くちらわしんやうとうちなかくなればいろうちものできいの はありきまい自然天然しまっからはのしましかりよ のうなるのはつううちもしてももからいとのへとうにきる 後からてきのはか生きるだろろれのあいるあのは めていれりはいめてくれる。まと成れてんとくや又小 きるしている我かっとを達してめるかりはされたとりと きたてすると、大士教也を威機とういう人人のれあーけし 入一切の天人大名となるとしくかりろうて記れしいる かくらはからいとうせっといじってものかまかりつから あんでいっとすろうまでろいっからけいかりかまからあすせ の八者をわりいうにちのとく大多でには、はころ小死とさ ときているのうところとはのりはのりととるると るかと成れすですめのくのはいかかりのから いけてのとはらいいかなかきてかけーガーりあるる人大 けつちゃうのもなどうけではる小成化之一次はの性いい 気のからいれるでくるとう。までうべははのかなとなる 一ついのはいおしめまかろし、からのごとしときろとは 会となれのひれとうけて、ゆきか成れナーしちろざい の好から称ういとははしてかかりいめのとしからきずれ

はいきまときはまれていないからものでく からいめれてのあまとないないないとうちょうせん 又は後伸とうしからみて、そのかかったくはろうな かられているはのあるとあるしる人かられかられ ふーておってできばるわししだけいし、まずはかしく でするるの知られば養して食事かを用り 南しやたいはのあるものないるとはなるとけからなる をはまするとれてものいはのかであるとないますいはから できていれのかきかすみれあして供養しまるしま るを書いてくれているといっていているとうとく ののなくの外のき、利めのものよりまするでしたい ふるのでのまれとうく、ちまなんとくいうした ○ 夫 随んくろうらくとうへいないのえまいしかりま さいちつくれぬいをを放いをよのう八方上下のをきま きつう。えるれる地方世界の他のからけとくでくせんと れるないとだりなんかなのかれかけるかくい おきとゆううるかってきしたきからろこびしょうなんのある くりまからででいくしたさかり相差しからている とはつきっというせてはくまかいけしとりですいか見り 力九 随心は八字の生 イと一旦をもさつ

かくろ るなちのちて 级人家 ある 以供の

唐

AND HOME THOUSE THE SECRET AND THE SECRET AND



りいかとはみ極とからはからのかとまかりひしい ちきんなどなすえるからのはいかとかりて かけてちくりとするかくうろいころ大き世界とうよ そんしかるというところれとかなるななかかいかといれいる ふろかなからいからのもなってんかっちょういれ えいかりの国名人あるのでするしてもりそうけんろいは此 まっとのとう自ちとたて、何りとどけたいあのよのち は合うのうちと生でしるなどでついりつりはのからい とろうとうちまなくっている村林同れているというとうないない くろはいろう大はきてはるいかろうろうとうなっ がそののはくれといく上生のある一人していみのあるろうと ちょうしてかるまかきくなるいいかって なんり、被はとなってくとてあるいかっとれなんようの おく、そとすようしているとの後の地方がはまのためのはあいます なり、みのからまないかかりていとどりかいりしてきる さらいよきあれるいかかをあすい内かもとひとのぞくれ できるかっては金のおうなくれまったものの女はよることんと からす同場とろいているなんのはれのりというまかれ うっかはいのなと成れするまでいまり A. A.

まてきられるまでしては、八里浦でのいろのくのかかくまたとうなるできるとうかからではいっているとうではいっているとうでいるとうでいるとうでいるとうではなってらいるというというないのにまるののでうというというというでは、かっかいのいまなのでうかったはなくというとは、いろはりはんだのできないとうのなるなっているとはらばらいるとはらばらいろうましなくはんだのであるないとうられるないとうない。

きありたが後もらりべいかの思るかいうとまれている そいろしれかいかして辺りとかきます大はの水はでし るにようではどれいれるかららのよれなとはという ふはふまんながらいからくのあせとどの小安まるよ いらことろのもれはほれるととうしいおういあまして きれしたてまろうでしくはるのくらいの生とうかん 性生せん ついれるすむるのくこかがくろうでうととけれるが 祖生選引き之下

は生要なる人の下れ

施工は他にはなったようないが

教化幸今世外可福香る	一念發起動山	女人教化集合二	真宗教要動员二	赤尾道京十万条命本	實際記拾遺廣美二	信学一骨目末世几天などの電響	柳神等可方、神真神教化力	同續統	真宗授要編全一	同血脉文集令一	親衛五至人衛法計戶方二
同新释二二	安心决定多等二	八僧信平世坐不以用人意之	要華道等ノ敬	************************************	方安心~概念ラアラへと記事と		事修專念戲問二	作紫持動動回	他力領解對地班	なグアラハス此師、此つ骨折と	一等 偷 多罗 惠安二
日用馬療医使	馬療機要	馬療治調法部	华 经 中 一	华藤秀湖法部 ~	八科を成うとつとの書でり	宋教里林 實	本個相審察 法门見問告	奔近年俸秒 係 心 物	雅易分酌移 機 解 記	E. 2	1

を発送する素の。	故犯請文館抄回一	玉田京确遺狀記	與鄉書繪抄回二	安心决定於詹抄日二	十四行傷繪 抄同 二	正像末和散命抄同二	高僧和謝鄉抄同二	現世利益和諸籍抄局二	海土和請鄉抄同 二	四十八首繪抄同三	正信偶雜抄到
祖行のる在と海域をうること	同十條傳以二二	親鸞聖人给詞律三	同四編二五編二	妙好人傳初編	弘二河台道繪抄同一	和明情九郎傳好入五	ところ次の書るくい他をなる	でのするはまってはいるではとすり	念佛行者十月ごする	同續篇文教前の那一	心得花了東北
さらずかけるとまうかってる	ちんからけばいまとして	四十八八八十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	南れるのれれてと季で分かる	真宗心科草小文山	て一种でかっる風のが風をある	数をのけてからの地質の	の具宗故實之要物	河順科圖會 各人十	同参詣記 横本	竹四市道るるを言	柳文五門部主統本

The same	A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O	
プトル 海岸東	一大の大きなのでするのから 中であるかりて強さにあたりを 中であるかりて強さにあたりを 中であるかりて強さにあたしたを 中であるかりて強さにあたしたを 関するとしたのなす又本で人所 要でした。他のなず又本で人所 要でした。他のなず又本で人所 要でした。他のなず又本で人所 のでは、他のなのである。 一般である。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一をなる。 一を	
衛書物所 一子母九郎右衛門	現 村一代 関會 ギャッカー 全有季前心場が、本面ののでは、一個では、一個のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	- Children

